



## 新しく始まる学校生活

### ・入学式・始業式・

from 豊山小学校

四月六日(金)、桜の柔らかな若葉に迎えられ、平成三十年度入学式が行われました。今年は六十七名の新入生が「豊山健児」の仲間となりました。新しく始まる学校生活にドキドキ、ワクワク。服部町長をはじめ、多数のご来賓と保護者に見守られながら、入学式に臨みました。

入学式には、なんと地空人くんが祝いに駆けつけてくれました。地空人くんの登場に新入生は大喜び。新入生は地空人くんと、元気に挨拶すること、友達と仲よくすること、車に気を付けることを約束しました。

入学式後、新入生は学校の中を先生と一緒に探検しました。音楽室や図書室などの特別教室を見学し、見たことのない教具に驚いていました。たくさんの友達を作って、小学校に楽しく登



校してくれることを心から願っています。

四月九日

(月)には、新任式・始業式・対面式が行われました。

新任式では新しく十一名の先生方をお迎えしました。



始業式での担任発表の後には、児童会役員の任命式も行われました。児童会長が、児童会役員を代表して挨拶をし、豊山小学校をよりよくしていくこととする強い決意を堂々と述べていました。

対面式では、二年生から新入生へ、あさがおの種がプレゼントされました。大切に育てて、夏にきれいな花を咲かせてほしいと思います。

新しい仲間、新しい先生、新しい教室。気持ちを新たに、楽しい学校生活を送ってほしいと思います。

## 私の航空史

岡野允俊

### 名古屋城

名古屋城 忠実な木造復元への方針が進められている・・・という昨今の新聞に大見出しがあった。

江戸時代に築城された当時の姿をなるべく忠実に再現するため改築の計画が進められている。僕らが子どもの頃はよく小学校の遠足で行った懐かしい名所である。またそのころ夏、冬休みに彦根や京都へ行っていた。その時名古屋駅から東の方を見ると県庁、市役所、そして名古屋城が並んで建っており、ああ名古屋へ帰ったナという安堵感を覚えたものである。熊本からだだと三十五時間、京都からだだと五時間、彦根からだだと三時間もかかった。そんな長時間汽車に乗って「次は名古屋」という車掌の案内を聞き名古屋城が見えた時ホッとしたものである。

ある名古屋城がなくなってしまうので戦後早速復元された。しかしこれは鉄筋コンクリート製の復元模造の城であった。これでは寂しいというのでどうせ復元するのならキチンとした本物を造らんと将来にわたってなんといわれるかわからん。ならば本物にしよまいかと河村市長がやけに張り切って木造復元に力を入れている。その骨子がまともり近く改めて修復に入り名古屋のシンボルとして誇り得るものにしたと胸を張る。シンボルはなんでもしやんとした立派なものでありたい。二〇二二年に再建完成の計画を進めるといふ。我々世代は当時の(昭和十年頃の)名古屋城を知っているが昨今の若い人々はコンクリートでエレベーターがあってもさしたる違和感はない。その時代その時代の名古屋城を理解していればそれでもよからう。果たして昨今の名古屋人がしばらくぶりに名古屋城を見てああ名古屋へ来たという感慨になれるかどうか。廻りのビルに囲まれてかたみが狭くなった名古屋城だが、多くのビルの中にあっても燦然と輝く、そういう名古屋城であってほしいものである。